

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

都道府県名	熊本県	事業実施主体	熊本県、八代市、五木村	地域再生計画名	やすらぎと活力に満ちた八代・五木地域再生計画
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	八代市農林水産部		

	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況	最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績						
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	危険箇所 の解消 市道2路線 林道3路線	市道2箇所 林道10箇所	H26	市道0箇所 林道6箇所	H29	市道0箇所 林道6箇所	市道0箇所 林道0箇所	R3	市道0箇所 林道0箇所	○	5 2	道路整備により危険区域の解消は達成出来た。 平成28年に発生した熊本地震や令和2年7月豪雨災害の影響もあり、工事費算定の基礎となる諸経費率の見直し及び、工事施工単価の大幅な増加により、事業量の進捗率が伸びなかった。又、令和2年度以降は事業予定箇所の施工が出来ない路線もあった。 令和2年7月豪雨による災害により、森林へのアクセス道路が被災したため、予定していた森林整備を行うことが出来なかった。今後は早期に災害復旧工事を完了し、森林整備を推進したい。 令和2年7月豪雨による災害によりアクセス路線等の被災やコロナ渦の影響による往來の制限等によって、観光交流人口が減少する結果となった。現在復旧工事は進められており、今後、本事業の推進と共に目標達成を目指したい。 海外（中国・韓国等）への輸出量が拡大し、コロナ渦により輸出が出来ない時期もあったが、目標値を大幅に上回った。
	指標2	アクセス改善 市道3路線 林道14路線	市道8分 林道254分	H26	市道6分 林道144分	H29	市道5分 林道147分	市道5分 林道88分	R3	市道5分 林道147分	△		
	指標3	森林整備困難地域の解消	90ha	H26	40ha	H29	23ha	0ha	R3	33ha	△		
	指標4	観光交流の活性化	117,684人	H25	120,000人	H29	87,073人	123,500	R3	69,241人	△		
	指標5	木材輸出量の増	30,478㎡	H25	39,000㎡	H29	93,712㎡	45,000	R3	143,095㎡	○		
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度 (H29)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2.2km	1.5km	2.3km	今回の整備により地域住民等の利便性の向上や道路通行の安全性につながったと考えている。また、地元住民の未整備区間の早期完成を強く求める声を踏まえ、市単独費投入により一部区間の先行整備を行ったことにより当事業による整備量は減となったが、目標としていた危険箇所の解消及びアクセス時間の短縮は達成できた。
	林道整備事業（整備延長）	28.6km	12.4km	24.1km	今回の整備により完了した路線についてはアクセス時間短縮等の効果が見られるが、令和2年7月豪雨災害により、事業予定箇所の工事施工が出来なくなった等の理由により、目標の整備量を達成することが出来なかった。今後は早期に交通路網を復旧し、森林整備促進のため林道の舗装・改良を行う必要がある。
その他の事業	森林整備地域活動支援交付金事業	森林業の集約化に必要な森林情報の収集、境界確認等の諸活動に対して支援する事業で、中でも森林業の実施の基盤となる既存の作業路網の改良を行う活動に対して支援を行う。			森林業の集約化に向けた境界確認等と併せて計画的に実施されており、アクセス改善により相乗効果が期待できる。
	森林整備加速化・林業再生事業	森林の立地等において条件が不利な森林を対象に、林業・木材産業の振興を図るため、森林組合が主とした関係、林内路網整備を行う。			林業の基盤整備となる作業路整備や高性能林業機械の導入等を推進することで利用間伐や素材生産の低コスト化を図り林業・木材産業の振興に寄与している。
	森林環境保全整備事業	自然的にまとまって計画的に行う間伐等の森林施策と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			経営計画作成森林において計画的に作業道の開設や間伐を行うことで、森林の持つ多面的機能の発揮や、木材産業の振興に効果を上げている。
	八代市木質バイオマス利活用計画	豊富な森林資源の有効活用（木質バイオマス等）、適切な森林整備の推進、森林が持つ公益的機能の発揮、化石燃料使用量の抑制を進め、持続可能な地域循環型社会の創出を目指す。			公共温泉施設に木質バイオマスボイラーを設置し、地域内の森林資源を活用したエネルギーの循環利用を行っており、木質資源の有効活用と併せて森林整備促進に効果を上げている。
	八代産材利用促進事業	八代産木材の需要を拡大することにより、木材関連産業の振興を図り、八代市の林業の活性化及び森林の健全化を促進する。併せて八代市への定住化の促進を図る。			毎年度、募集を行っており、建築主自ら居住する住宅に八代市産の木材を使用した場合、その費用の一部を助成している。（新築20万円上限、増改築10万円上限）これにより、八代産木材の需要を拡大が期待できる。
	八代市みどり推進協議会事業の推進	基盤事業を拡充として、ふれあいの緑化推進事業や緑のカーテン事業等の緑化推進、水とみどりのふれあいスクール等緑化イベント、緑の少年団育成事業等の森林・林業教育を推進する。			毎年度、募金をはじめ、水とみどりのふれあいスクール等緑化イベントを開催し、森林・林業教育を推進している。
	港湾整備を含めた八代港の機能充実	八代港岸整備の推進、中国や台湾を船める大型コンテナ船に対応できるガントリークレーンなど、コンテナ貨物の取扱量増加に必要な港湾施設の整備についての要望活動を行うとともに海外大型クルーズ船の誘客に積極的に取り組む。			要望活動により港湾施設の整備が進められており、平成31年度は、国際クルーズ船旅客ターミナル等の大規模な整備が開始される。近年では、海外大型クルーズ客船の来航が増えており、外国人観光客の増加が見込まれる。
木の駅プロジェクト	豊富な森林資源を有効活用し、且つ森林の多面的機能を持続的に発揮するとともに、化石燃料使用量の抑制を進め、持続可能な地域循環型社会の創出を目指す。			山に放置されている木材を集め出荷し、市内のお店で使える地域通貨券「もり券」に交換して、「もり券」取扱店で買い物することで山の手入れと地域経済の活性化に期待できる。	
計画外で独自に実施した事業	—				

④評価方法 やすらぎと活力に満ちた八代・五木地域再生計画評価委員会を開催し、最終実績に関する評価・検討を行った。

⑤事後評価の公表方法 八代市及び五木村ホームページに掲載

⑥計画全体の総合評価 本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施しているところであるが、平成28年に発生した熊本地震や令和2年7月豪雨の影響もあり、工事施工単価等の大幅な増加により、林道開設事業においては進捗が遅れているため、十分な成果を発揮することができない状態にある。一方、改良・舗装事業は概ね計画とおり整備されていたが、令和2年7月豪雨災害による路網の被災によって施工出来ない路線もあったため、目標の事業量を達成することが出来なかった。一方、木材輸出量についてはアクセス時間の短縮や需要の拡大によって大幅に増加した。しかしながら、アクセス道の復旧工事やコロナ渦等により、すぐには山間地域の観光交流人口の大幅増とまでは至らない見込みである。

⑦今後の方針等 本地域再生計画においては、林道開設事業に大幅な遅れが見られるが、整備完了した路線についてはアクセス時間短縮等の効果が見られる。今後、事業期間を延長し、整備目標の達成を目指すと共に、観光交流人口の増加等も含め目標達成ができるよう対策を講じていきたいと考えている。